

南国・ヤシの実

マレーシア人の親友がいる。かれこれ 40 年来の家族付き合いだ。その令嬢が結婚することになり仕事を兼ねて出席することにした。私にとってマレーシアを訪問するのは初めてであった。クアラルンプールより車で 2 時間近く走った所に、マラッカ海峡に面した風光明媚なリゾート地・ポートディクソンはあった。

ハイウェイの走行は快適であった。街並みを見ていると人々の生活が肌で感じ取れる。行程の半分くらいから景色は一変した。道路の左右には広大なヤシ畑が行けども行けども続いていた。

このヤシは油を採るためのプランテーション農園で、マレーシアの主要産業の一つになっている。1995（平成 7）年には世界の生産量の 51%を占めていた。その面積は約 20000 平方 km というから驚きだ。このヤシは果樹から得られる油脂から、食品植物油や石鹼などに加工されている。



ポートディクソンの海岸には大きなヤシの木がたくさん生えていた。子供の頃に歌った島崎藤村作詞「椰子の実」が思い出される。「♪～名も知らぬ 遠き島より 流れ寄る 椰子の実一つ 故郷の岸を 離れて 汝はそも 波に幾月～♪」。明治時代に作られたこの歌には遠い異国の限りないロマンが感じ取られる。ひょつとするとこのヤシがはるばる日本まで流れ着いたかも知れない。

撮影 2014 年秋

